

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年11月14日
【四半期会計期間】	第13期第3四半期（自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日）
【会社名】	株式会社リブセンス
【英訳名】	Livesense Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村上 太一
【本店の所在の場所】	東京都品川区上大崎2丁目25番2号
【電話番号】	03-6275-3330
【事務連絡者氏名】	取締役 中里 基
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区上大崎2丁目25番2号
【電話番号】	03-6275-3330
【事務連絡者氏名】	取締役 中里 基
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第3四半期 連結累計期間	第13期 第3四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年12月31日
売上高 (千円)	4,739,371	5,224,676	6,350,770
経常利益 (千円)	365,289	89,480	457,217
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	240,133	178,796	306,853
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	245,553	109,110	314,700
純資産額 (千円)	3,371,952	3,610,268	3,441,229
総資産額 (千円)	4,300,024	4,234,950	4,348,087
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	8.54	6.35	10.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	8.49	6.32	10.85
自己資本比率 (%)	77.7	84.5	78.5

回次	第12期 第3四半期 連結会計期間	第13期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日	自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.18	4.05

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、株式会社リブセンスコネク(報告セグメント: 求人情報メディア事業)、株式会社フィルライフ(報告セグメント: 不動産情報メディア事業)の2社を設立し、それぞれ連結子会社としております。

また、当社は、平成30年9月13日開催の取締役会において、当社が発行済株式の70.3%を保有する連結子会社株式会社wajaの株式を一部譲渡することを決議し、平成30年9月30日に譲渡いたしました。詳細については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。本件に伴い、当社が発行済株式の14.8%を保有する株式会社wajaは連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成30年9月13日開催の取締役会において、当社が発行済株式の70.3%を保有する連結子会社株式会社wajaの株式の一部譲渡することの決議を行い、同日付けで株式譲渡契約を締結し、平成30年9月30日に譲渡いたしました。詳細については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。本件に伴い、当社が発行済株式の14.8%を保有する株式会社wajaは連結の範囲から除外しております。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当社グループでは、求人情報メディアを始めとする複数のインターネットメディアを運営しております。

当第3四半期連結累計期間は、当期のテーマである「競争優位の確立」に向けた施策を進めてまいりました。当社の主要セグメントである求人情報メディア事業、不動産情報メディア事業においては、合弁会社2社の設立等による事業拡大とサイト価値の向上に取り組み、増収となりました。また、イーコマース事業においては連結子会社である株式会社waja（以下、「waja社」）の株式の一部譲渡するなど、事業の選択と集中を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,224,676千円（前年同期比10.2%増）、営業利益は26,162千円（前年同期比88.0%減）、経常利益は89,480千円（前年同期比75.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は178,796千円（前年同期比25.5%減）となりました。

各事業の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」に含まれておりました競争入札型転職サービス「転職ドラフト」を「求人情報メディア事業」に移管しております。前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメントに組み替えて表示しております。

a. 求人情報メディア事業

求人情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用したアルバイト求人サイト「マッハバイト」、転職クチコミサイト「転職会議」、正社員転職サイト「転職ナビ」、新卒就活サービス「就活会議」、競争入札型転職サービス「転職ドラフト」等を分類しております。

当第3四半期連結累計期間は、当期の注力事業である「転職会議」が、株式会社リブセンスコネクトを通じた「転職会議BUSINESS」の販売等により事業規模を拡大いたしました。「マッハバイト」につきましては、引き続き認知向上を目的としたプロモーション等を実施しておりますが、投資回収には一定の時間がかかるものと想定しております。

この結果、売上高は4,020,378千円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は817,805千円（前年同期比22.4%減）となりました。

各サイトの売上高は、次のとおりであります。

・マッハバイト：	1,671,220千円（前年同期比	0.1%減）
・転職会議：	924,155千円（前年同期比	15.5%増）
・転職ナビ：	1,088,004千円（前年同期比	4.7%増）
・その他（就活会議、転職ドラフト等）：	336,998千円（前年同期比	29.8%増）

b. 不動産情報メディア事業

不動産情報メディア事業におきましては、成功報酬型ビジネスモデルを活用した賃貸情報サイト「DOOR賃貸」、不動産情報サービス「IESHIL（イエシル）」（以下、「イエシル」）等を分類しております。

当第3四半期連結累計期間は、「DOOR賃貸」において広告の積極投下等による集客の拡大を図り、大幅増収となりました。「イエシル」では、物件別の災害リスク・学区情報の提供を開始するなど、データの拡充及びサイトの改善を推進いたしました。

この結果、売上高は655,673千円（前年同期比66.1%増）、セグメント利益は167,700千円（前年同期比105.4%増）となりました。

c. イーコマース事業

イーコマース事業におきましては、海外ファッションECサイト「waja」等を分類しております。

平成30年9月30日をもって「waja」等を運営するwaja社の株式の一部を同社経営陣に譲渡いたしました。これにより、waja社は当第3四半期末から連結の範囲より除外いたしました。なお、同社の損益計算書は当第3四半期連結累計期間まで連結しております。

この結果、売上高は416,316千円（前年同期比6.4%減）、セグメント損失は58,362千円（前年同期はセグメント利益13,608千円）となりました。

d. その他事業

その他事業におきましては、テスト運用中のサービスを含む複数の新規事業及び検索エンジン対策を中心としたWebマーケティングに関する助言業務による収入等を分類しております。

新規事業では、BtoBのサービス比較・発注情報サイト「アイミツ」や、医療情報サイト「治療ノート」の運営に加え、新たな成長の柱の確立及びその過程を通じた組織・人材の強化を目的として、新規事業の立ち上げに取り組みました。

この結果、売上高は132,428千円（前年同期比2.8%増）、セグメント損失は24,077千円（前年同期はセグメント損失1,973千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,234,950千円となり、前連結会計年度末に比べ113,136千円減少いたしました。これは主に、売掛金の増加81,583千円、現金及び預金の減少128,674千円、有形固定資産の減少10,387千円及び無形固定資産の減少29,996千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、624,681千円となり、前連結会計年度末に比べ282,176千円減少いたしました。これは主に、未払金の減少59,529千円、未払法人税等の減少35,128千円及び流動負債その他の減少143,732千円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,610,268千円となり、前連結会計年度末に比べ169,039千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加165,895千円等によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,000,000
計	96,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成30年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,140,800	28,140,800	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、1単元の株式数は、100株となっております。
計	28,140,800	28,140,800	-	-

(注) 提出日現在発行数には、平成30年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日 (注)	4,800	28,140,800	64	235,292	64	220,292

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,131,300	281,313	-
単元未満株式	普通株式 4,400	-	-
発行済株式総数	28,136,000	-	-
総株主の議決権	-	281,313	-

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社リブセンス	東京都品川区上大崎 2丁目25番2号	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「自己株式等」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,083,994	2,955,320
売掛金	621,405	702,988
商品	4,920	-
仕掛品	2,755	-
その他	198,625	184,124
貸倒引当金	248	277
流動資産合計	3,911,451	3,842,155
固定資産		
有形固定資産	99,876	89,489
無形固定資産	55,001	25,005
投資その他の資産		
その他	285,861	279,946
貸倒引当金	4,104	1,646
投資その他の資産合計	281,757	278,299
固定資産合計	436,635	392,794
資産合計	4,348,087	4,234,950
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,725	-
未払金	420,146	360,616
未払法人税等	40,858	5,729
賞与引当金	55,544	31,122
ポイント引当金	1,118	-
その他	368,213	224,481
流動負債合計	900,607	621,949
固定負債		
資産除去債務	5,689	2,732
その他	560	-
固定負債合計	6,250	2,732
負債合計	906,858	624,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,227	235,292
資本剰余金	223,677	223,742
利益剰余金	2,951,881	3,117,776
自己株式	856	856
株主資本合計	3,409,930	3,575,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,612	1,893
その他の包括利益累計額合計	1,612	1,893
新株予約権	8,525	8,525
非支配株主持分	21,161	23,894
純資産合計	3,441,229	3,610,268
負債純資産合計	4,348,087	4,234,950

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	4,739,371	5,224,676
売上原価	456,984	540,727
売上総利益	4,282,387	4,683,949
販売費及び一般管理費	4,064,055	4,657,786
営業利益	218,332	26,162
営業外収益		
受取利息	29	30
クーポン失効益	13,753	16,685
補助金収入	5,911	5,438
違約金収入	135,836	40,408
その他	289	3,126
営業外収益合計	155,820	65,688
営業外費用		
為替差損	346	199
投資事業組合運用損	8,516	2,172
営業外費用合計	8,862	2,371
経常利益	365,289	89,480
特別利益		
関係会社株式売却益	-	27,772
特別利益合計	-	27,772
税金等調整前四半期純利益	365,289	117,252
法人税、住民税及び事業税	127,238	1,305
法人税等調整額	9,618	7,117
法人税等合計	117,620	8,423
四半期純利益	247,669	108,828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	7,536	69,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	240,133	178,796

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	247,669	108,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,116	281
その他の包括利益合計	2,116	281
四半期包括利益	245,553	109,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,017	179,077
非支配株主に係る四半期包括利益	7,536	69,967

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社リブセンスコネクト及び株式会社フィルライフを連結の範囲に含めております。

なお、従来、決算日が9月30日であった連結子会社の株式会社リブセンスコネクトについては、連結決算日との間に生じた重要な取引について、連結上必要な調整を行っておりましたが、第2四半期連結会計期間より決算日を12月31日に変更しております。この変更は、決算日を統一することにより当社グループの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化を図るためであります。この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成30年1月5日の会社設立より平成30年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

また、当社は、平成30年9月13日開催の取締役会において、当社が発行済株式の70.3%を保有する連結子会社株式会社wajaの株式を一部譲渡することを決議し、平成30年9月30日に譲渡いたしました。詳細については、「第4経理の状況 1 四半期連結財務諸表注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。本件に伴い、当社が発行済株式の14.8%を保有する株式会社wajaは連結の範囲から除外しております。

なお、同社の損益計算書は当第3四半期連結累計期間まで連結しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
減価償却費	81,782千円	33,403千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	求人情報 メディア 事業	不動産情報 メディア 事業	イーコマー ス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,770,787	394,860	444,949	4,610,597	128,774	4,739,371	-	4,739,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	270	-	-	270	-	270	270	-
計	3,771,057	394,860	444,949	4,610,867	128,774	4,739,641	270	4,739,371
セグメント利益又は損失 ()	1,053,804	81,644	13,608	1,149,056	1,973	1,147,083	928,751	218,332

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webマーケティングに関する助言業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	求人情報 メディア 事業	不動産情報 メディア 事業	イーコマー ス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,020,258	655,673	416,316	5,092,248	132,428	5,224,676	-	5,224,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	120	-	-	120	-	120	120	-
計	4,020,378	655,673	416,316	5,092,368	132,428	5,224,796	120	5,224,676
セグメント利益又は損失 ()	817,805	167,700	58,362	927,143	24,077	903,065	876,903	26,162

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webマーケティングに関する助言業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理区分の変更により事業区分を変更しております。

主な変更として、「その他」に含めていた「転職ドラフト」を求人情報メディア事業に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

また、「イーコマース事業」に分類しておりました株式会社waja社の株式の一部を平成30年9月30日に譲渡し連結の範囲より除外しております。

なお、同社の損益計算書は当第3四半期連結累計期間まで連結しております。

(企業結合等関係)

事業分離

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

株式会社waja

(2) 分離した事業の内容

オンラインマーケットプレイスの運営

(3) 事業分離を行った主な理由

waja社は、海外ファッションECサイト「waja」や、インポートファッションブランドのアウトレットECサイト「REASONアウトレット」等を運営しております。2015年の当社グループ化以降、当社はWebマーケティング等における独自ノウハウを注入することで、waja社のECサイト改善及び事業成長に、一定の役割を果たしてまいりました。一方で、waja社においては更なる成長加速に向け、新規事業として同社の強みである独自のフルフィルメントシステムをSaaS型クラウドサービス「PANAMAスタジオ」としてリリースし、当該事業をEC事業に続く今後の成長の柱とすることを計画しております。このような状況を踏まえ、当社グループにおいても事業の選択と集中の観点から、waja社においてもより自由度の高い観点から新たな戦略に沿って事業成長を図ることがwaja社及び当社グループの価値の最大化に繋がると判断し、株式の一部譲渡を決定いたしました。

(4) 事業分離日

平成30年9月30日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

27,772千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	162,625千円
固定資産	25,385
資産合計	188,011
流動負債	163,266
固定負債	3,534
負債合計	166,801

(3) 会計処理

株式会社wajaの連結上の帳簿価額と売却価額の差額を関係会社株式売却益として特別利益に計上しておりません。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

イーコマース事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	416,316千円
営業損失	58,362

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円54銭	6円35銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	240,133	178,796
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	240,133	178,796
普通株式の期中平均株式数(株)	28,118,924	28,137,090
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8円49銭	6円32銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加額(株)	151,194	133,661
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月13日

株式会社リブセンス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 阪田 大門

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅井 則彦

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社リブセンスの平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社リブセンス及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。